

1. 教育計画

健康現象の疫学と統計

分野	専門基礎分野 健康現象の疫学と統計	科目名	保健統計学
単位・時間	1単位・30時間（授業28時間）	対象学年	3年生
方法	講義	時期	後期
講師名（担当時間数）	外部講師 日高 友郎（8時間） 外部講師 遠藤 翔太（10時間） 外部講師 春日 秀朗（10時間）		
学習目標	保健統計学の基礎的知識を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	「ていねいな保健統計学」 白戸亮吉、鈴木研太（羊土社）		
参考文献	国民衛生の動向		
履修上の留意	講義と演習に主体的に参加すること。		
講師からのメッセージ	国家試験の内容を意識しつつ、基本的な内容を丁寧にお伝えするように心がけます。不明な点、不思議な点、もっと知りたいことなどがあればお気軽に質問してください。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	データの種類とまとめ方	データの種類と代表値	講義 演習	日高
2	2	//	表と図の利用 代表的な確率分布	//	日高
3	2	2種類のデータの 関係性	相関	//	日高
4	2	//	回帰	//	日高
5	2	検定の基礎	推定と検定	//	遠藤
6	2	//	t検定	//	遠藤
7	2	検定の応用	順序のあるデータの検定	//	遠藤
8	2	//	分類されたデータの検定	//	遠藤
9	2	//	検定の活用	//	遠藤
10	2	人口統計	人口静態統計	講義 演習	春日

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
11	2	//	人口動態統計	//	春日
12	2	//	生命表	//	春日
13	2	保健統計調査	基幹統計	//	春日
14	2	//	基礎的な統計調査、医療経済統計、疾病・障害の定義と分類、情報処理	//	春日
15	2	評価	筆記試験		日高